



川崎競馬倶楽部



SINCE 1990



<http://www.kawasakikeiba.com>

〒212-0002 川崎市幸区小向仲野町15-4 川崎競馬倶楽部 2010年2月号

NARグランプリ3歳最優秀馬・2009年川崎競馬年度代表馬

ブルーラッドの軌跡



2月4日、NARグランプリ表彰式の壇上にて。
左から戸崎騎手、茂木厩務員、足立調教師、黛オーナー、仲田理事長。
photo by Mr.O

ひと夏で見せた抜群の成長力

2月4日目黒雅叙園で行われたNARグランプリ2009の壇上に誇らしげに立つブルーラッド関係者たち。

東京湾カップ、戸塚記念、埼玉栄冠賞、そして並み居るダートの猛者を一蹴して圧勝した浦和記念。2009年の地方競馬において3歳馬唯一のダートグレードホースになったことが決め手となり「NARグランプリ2009サラブレッド3歳最優秀馬」に輝いた。また、1月29日には「川崎競馬年度代表馬」に選出され、表彰された。



◆ブルーラッド◆

父 シーロ
母 マルゼンラッド
牡 2006年生 鹿毛
馬主 ● 黛 大介
調教師 ● 足立 勝久
騎手 ● 戸崎 圭太
厩務員 ● 茂木 浩幸
生産者 ● 橋本 牧場

「この馬の成長力には驚かされる」。ブルーラッドに関わった誰もの口から「成長力」というキーワードが飛び出す。

2歳の夏に道営競馬でデビューし、3戦1勝。休養を挟み3歳になって川崎にやって来たが、緒戦の2月戦では休み明けにもかかわらずマイナス7キロ、激しい気性も伴って不安要素もつきまとっていた。

転入から4戦目で東京湾カップに駒をすすめた。東京ダービーに向けた最後の重賞とあって好メンバーが揃ったが、好位でレースを進めたブルーラッドがゴール前瞬発力を発揮してわずかに捕らえコンマ1秒差で戴冠。ダービーへの切符を手に入れた。

しかし東京ダービーではテンから流れに乗りきれず8着、黒潮盃では11着と気性面の難しさがレースで出てしまう。不完全燃焼のままクラシックを終えた。

「ブルーラッドの場合は、ひと夏越した変わり身が大きかった。クラシックは心身共にその課程にあったんでしょう。相変わらず調教に向かうにも3人がかりという激しさはあったが、本来この馬が持っていた力を出せるようになってきた。課題を克服するためにチークピースズを着用するようにしたがそれもよかつ

たね。戸塚記念では逃げる競馬。道中の反応もガラッと変わってきた」と足立調教師。

ひと夏の成長とチークピースズ効果で本格化した秋。続いて向かった埼玉栄冠賞では先行集団でレースを進めると4コーナーではすでに先頭。直線さらに後続を引き離して5馬身差をつける完勝だった。

さらに驚かされたのは浦和記念。全国から集う強豪相手にひとまくりの競馬であっさり先頭に立つと直線また伸びる圧勝劇だった。

転入以来ブルーラッドの良き相棒になっているのが茂木浩幸厩務員。「ブルーラッドは普段の調教の時は自分も乗っているんですが、上のクラスに挑戦しても通用する力のある馬、という手応えを感じていました。特に、転入2戦目は大井で2着でしたが、逃げてバテない根性があるな、と実感しましたし、この能力をうまく生かせれば上のクラスも夢ではないと思いました。ラッドは負けん気が強い性格ですが、時々レース中にへそを曲げてしまうところがあるので、レース前にはうまくラッドをレースに集中させるように気を使っています。その気分のコントロールが今後の課題でもありますね。馬自身もとても元気で、まさに『無事是名馬』ですね。厩舎では同厩のサイレントスタメンと比べると大人しそうに見えますが、猫かぶってるんですよ(笑)。とにかく元気いっぱいです。

今後の気になる相手は、同年代のナイキハイグレードやネフェルメモリー、同厩のサイレントスタメン、今は休んでいますがブルーヒーローなどが気になりますね。3歳最優秀馬を受賞しましたが、やはり同年代の彼らも強いと思いますから。

今年は船橋でJBCが行われますので地方馬代表として出走してみたいですし、中央馬を相手に渡り合いたいですね。去年は交流戦をほとんど中央馬に持っていわれていますし、また浦和記念がフロックだったと言われないように、みっともないレースはしたくないです。今年は斤量が重くなりますし、この馬にとってはこれからのレースが試金石ですね。自分もまだまだ勉強中ですから、ラッドと一緒にもっと成長していきたいです」。

東京大賞典のあとは厩舎で鋭気を養っているブルーラッド。戦列復帰するのは春。今度はどんな進化を見せてくれるのだろうか。



東京湾カップ
＜5月6日 船橋競馬場＞
3歳 1700m



戸塚記念
＜9月8日 川崎競馬場＞
3歳 2100m



埼玉栄冠賞
＜10月14日 浦和競馬場＞
3歳上 1900m



浦和記念
＜12月25日 浦和競馬場＞
3歳上 2000m

2009年表彰特集



congratulations!

◆NARグランプリ2009◆ フェアプレイ賞 ＜2月4日＞



今野忠成騎手

年間100勝以上しながら無制裁だった騎手に贈られるフェアプレイ賞に輝いたのは今野忠誠騎手。四年ぶり2度目の受賞となった。残念ながら授賞式にはケガのため出席ができなかったが、道中瞬時の判断が必要とされるなかでフェアな騎乗を年間1000鞍以上のレースで続けていることを讃えられた。

◆川崎競馬優秀競走馬表彰◆ ＜1月29日＞

最優秀競走馬賞



ブルーラッド号



馬主 黛大介
調教師 足立勝久
騎手 戸崎圭太
厩務員 茂木浩幸
生産者 橋本牧場

優秀競走馬賞



サイレントスタメン



馬主 宮澤静雄
調教師 足立勝久
騎手 金子正彦
厩務員 坂野真佐樹
生産者 藤田一行

◆南関東公営競馬表彰◆ ＜2月18日＞

南関東勝利度数
第4位

功勞騎手賞 功勞調教師賞



今野忠成騎手



山林堂信彦騎手 鈴木敏一調教師

◆川崎競馬優秀関係者表彰◆ ＜1月29日＞

最優秀調教師賞



池田孝調教師

最優秀騎手賞



今野忠成騎手

優秀厩務員賞



西田一厩務員

(岩本洋厩舎)

優秀獣医師賞



倉川佳之獣医師

優秀装蹄師賞



菅野茂雄装蹄師

春から母になります！

牝馬戦線をにぎわしてきたマダムルコントとフィリアレギスが繁殖入りし、今春から母になることになりました。



デビューから2連勝して注目を集めたフィリアレギスは最後の1枠で桜花賞出走にこぎ着けると先行力を発揮。見事、桜の女王に輝いたのでした。東京プリンセス賞7着後には一年近い長期休養に入り昨夏に復帰したもの再び勝利することは叶いませんでした。11月13日のレースを最後に11月下旬には生まれ故郷の市川ファームにも戻って母に備えています。



2007年ローレル賞、東京2歳優駿牝馬を勝ち2歳女王になったマダムルコントも12月30日の東京シンデレラマイルを最後に引退。道営から転入緒戦でいきなりローレル賞を勝ち、桜花賞では一番人気に推されながら8着。その後中央移籍し中央所属馬として関東オークスにも参戦。再び川崎に転入しましたがかつての輝きを取り戻すことはできず繁殖入りが決まりました。

◎◎▲△おつかれさま▲▲◎◎

■平成21年1月退厩馬■

武井榮一	ミヤビリキシオー	牡 5	群馬県	乗馬
山崎尋美	マイオブション	牡 4	東京都	廃用
稲垣純緒	フクチャン	牝 4	埼玉県	転厩
稲垣純緒	エンジェルシーロ	牝 3	埼玉県	転厩
佐藤健二	サニーフェスタ	牡 4	栃木県	乗馬
久保 勇	ウインパランセ	牝 4	北海道	繁殖
山崎尋美	パイナップルスノー	牝 5	群馬県	乗馬
足立勝久	ヤマイチスター	牡 4	福島県	乗馬
久保秀男	エスプリギアル	牝 4	福島県	乗馬
内田勝義	マダムルコント	牝 5	北海道	繁殖
武井榮一	エスプリカントリー	去 4	群馬県	乗馬
田島寿一	オンワードワールド	牡 8	群馬県	乗馬
田邊陽一	シェアインパルス	牡 6	栃木県	乗馬
八木 仁	ティーケーニケ	牝 7	北海道	繁殖
池田 孝	ヤンチャボウズ	牡 4	福島県	乗馬
池田 孝	オートリパートン	牝 4	福島県	乗馬
池田 孝	リディック	牡 4	福島県	乗馬
内田勝義	トーホウドレス	牝 5	北海道	繁殖
八木 仁	ハクシュウワイン	牝 3	東京都	廃用
池田 孝	イナズマルビー	牝 4	福島県	乗馬
佐々木仁	エフケーウィンズ	牡 4	兵庫県	転厩
山崎尋美	トレノソルーテ	牡 4	茨城県	転厩
鬼沢裕充	マイネルエルマス	牡 5	群馬県	乗馬
安池成美	ソールタンス	牝 3	東京都	廃用
田邊陽一	ジョウテンススマート	牡 5	栃木県	乗馬
山崎尋美	スグリワ	牡 4	茨城県	転厩
安池成美	オウシュウコトブキ	牡 6	神奈川	乗馬
内田勝義	アカテブクロ	牡 5	東京都	転厩
高月賢一	カキツバタフェロー	牝 5	群馬県	転厩
田邊陽一	カイトキゴゴ	牡 4	千葉県	転厩
田村裕志雄	ヤヘイツヨシ	牡 5	東京都	廃用
山崎尋美	プリティストロング	牡 3	東京都	転厩
田島寿一	アイフルジエコー	牡 4	佐賀県	転厩
内田勝義	ビッグジェム	牡 9	北海道	乗馬
高月賢一	オースミュニバース	牡 5	愛知県	転厩
高月賢一	ソニックソニア	牝 6	長野県	乗馬
足立勝久	ヤマイチチャチャ	牝 4	埼玉県	転厩
高月賢一	マチカネダイキチ	牡 8	神奈川	乗馬

◆感謝状をいただきました◆



1月29日の川崎競馬関係者賀詞交歓会の席上にて、「川崎競馬開設60周年記念表彰」として川崎競馬倶楽部が感謝状を頂戴しました。川崎競馬倶楽部の活動も今年で20年。これからもよろしく願います。

